

76. 陸前高田市立博物館収蔵標本の修復・復元作業協力

(学外対応分)

実施時期又は期間

平成23年6月～平成24年6月

対応部局及び人員

白神自然環境研究所教員 1名

実施の背景・目的

東日本大震災により陸前高田市立博物館が壊滅的な被害を受けたことに伴い、収蔵標本の修復・復元について、岩手県教育委員会及び陸前高田市からの要請を受けた岩手県立博物館より、白神自然環境研究所に協力依頼があった。

実施概要

陸前高田市立博物館収蔵標本チョウ目とトンボ目の標本409点が平成23年6月に白神自然環境研究所に届いたが、状態は極めて悪く、塩水と泥に漬かっていたことがわかった。生物学的な標本としての価値は大きく損なわれた状態であったが、泥落とし、塩抜き、整形、殺菌などを慎重に行い、1年にわたり標本を修復・復元した。

効果又は結果

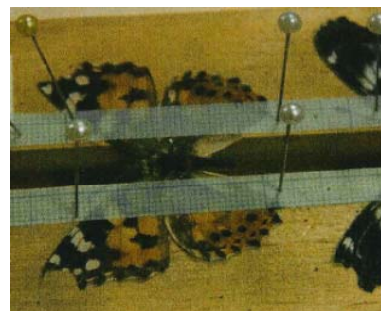
20世紀初頭からの三陸沿岸の生物相を記録する証拠として、学術的価値の高い標本を残すことができた。

担当部局名

白神自然環境研究所



岩手県立博物館より送られてきた
修復前の標本（一部）



標本修復中（整形）

岩 博 第 30 号
平成 23 年 5 月 11 日

弘前大学白神自然環境研究所 所長 様

岩手県立博物館
館長 菊池 慧



平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波により被災した
博物館収蔵資料の復元作業への御協力について（依頼）

当館の活動につきまして、日頃、格別のご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先の東北地方太平洋沖地震及び津波により、当県の陸前高田市立博物館は壊滅的な被害を受けました。当館では、岩手県教育委員会および陸前高田市の要請を受け、4月から同市立博物館の収蔵資料の救出および復元作業を行っているところです。収蔵資料は多岐にわたり、またその数量も膨大なものとなっています。

これらの資料のうち、生物標本は、20世紀初頭からの三陸沿岸の生物相を記録する証拠として学術的価値の高いものですが、被災後2カ月を経過してカビ・腐敗などの劣化が進んでおり、一刻も早い処置が必要です。当館では、学芸職員および多くのボランティアの手で、連日、懸命の作業を続けております。しかし、資料の数はきわめて多く、当館ほか県内施設において、短期間で処理できる量をはるかに超えています。

つきましては、下記のとおり貴館の御協力を賜りたく、ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、ご承諾いただけますようお願い申し上げます。

記

1. 依頼内容

陸前高田市立博物館所蔵生物標本の一部の洗浄および乾燥処理
当館より標本を輸送しますので、貴館にて処理をお願いいたします。

2. 標本の種別 昆虫標本

3. 数量 ドイツ箱 5箱

4. その他

標本の具体的な処理方法については別途お知らせいたします。

標本は、処理後1年以内に当館へ御返送下さい。

処理にかかる費用につきましては、誠に恐縮ですが御負担下さいますようお願い申し上げます。不足の消耗品については、当館に御相談願います。

陸奥新報

6月24日
金曜日

©陸奥新報社2011

陸奥新報社 〒036-8356 弘前市下白銀町2の1 ☎0172-34-3111(代表) www.mutusinpou.co.jp 購読申し込み ☎0120-365-062

紙面から
浅瀬石川に太公望呼び込め 2面
ゲーム機ネット接続4割超 3面
ドテヒロ売買契約30日締結 5面

天気
2 80%
8 20%
4 10%
16℃
17面

昆虫標本修復 復興の一助に

津波被害の陸前高田市立博物館が収蔵

チヨウウなど409点分

「土地の宝」慎重に作業

弘大・中村准教授

津波被害に遭った貴重な博物館収蔵資料を救え。弘前大学白神自然環境研究所の中村剛之准教授は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市立博物館(岩手県)が収蔵する昆虫標本の修復作業に取り組んでいる。標本の多くは泥水や海水に漬かったため非常に悪い状態だが、中村准教授は「貴重な標本はその土地の人たちの宝でもあるし、少しでも復興の手伝いをしたい」と意気込んでいる。

陸前高田市による。弘前大学白神自然環境研究所の中村剛之准教授は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市立博物館(岩手県)が収蔵する昆虫標本の修復作業に取り組んでいる。標本の多くは泥水や海水に漬かったため非常に悪い状態だが、中村准教授は「貴重な標本はその土地の人たちの宝でもあるし、少しでも復興の手伝いをしたい」と意気込んでいる。

陸前高田市による。弘前大学白神自然環境研究所の中村剛之准教授は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市立博物館(岩手県)が収蔵する昆虫標本の修復作業に取り組んでいる。標本の多くは泥水や海水に漬かったため非常に悪い状態だが、中村准教授は「貴重な標本はその土地の人たちの宝でもあるし、少しでも復興の手伝いをしたい」と意気込んでいる。

津波被害に遭った貴重な博物館収蔵資料を救え。弘前大学白神自然環境研究所の中村剛之准教授は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市立博物館(岩手県)が収蔵する昆虫標本の修復作業に取り組んでいる。標本の多くは泥水や海水に漬かったため非常に悪い状態だが、中村准教授は「貴重な標本はその土地の人たちの宝でもあるし、少しでも復興の手伝いをしたい」と意気込んでいる。



修復前の陸前高田市立博物館収蔵の昆虫標本を見つめる中村准教授

津波被害に遭った貴重な博物館収蔵資料を救え。弘前大学白神自然環境研究所の中村剛之准教授は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市立博物館(岩手県)が収蔵する昆虫標本の修復作業に取り組んでいる。標本の多くは泥水や海水に漬かったため非常に悪い状態だが、中村准教授は「貴重な標本はその土地の人たちの宝でもあるし、少しでも復興の手伝いをしたい」と意気込んでいる。

再審請求を棄却

小森 死刑囚側 仙台高裁に抗告

武富士事件

弘前市の消費者金融「武富士」弘前支店(当時)で2001年5月、従業員5人が死亡、4人が重軽傷を負った強盗殺人・放火事件で、強盗殺人などの罪で死刑判決が確定した元タクシー運転手小林光弘死刑囚(53)の青森市浪岡浪岡字稲村の再審請求について、青森地裁(小川賢司裁判長)は23日までに、棄却する決定をした。20日付。小林死刑囚側は決定を不服として仙台高裁で即時抗告した。

世界遺産

小笠原諸島を登録へ

自然分野、国内4カ所目

【パリ時事】当地で文化機関(ユネスコ)会は23日午後(日本時間24日未明)、日本が第35回世界遺産委員

開催中の国連教育科学文化機関(ユネスコ)会は23日午後(日本時間24日未明)、日本が第35回世界遺産委員

自然遺産として推薦した小笠原諸島(東京都)について審査する予定だ。

ユネスコの諮問機関が「登録は適当」と勧告しているため、登録は確実とみられる。登録されれば、国内での世界遺産登録は、自然分野では、1993年の白神山(青森、秋田県)、屋久島(鹿児島県)、2005年の知床(北海道)に次いで4カ所目。文化遺産も含めると15カ所目となる。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

同委での審査は25日まで続き、「平泉の文化遺産」の登録も予定されている。

日々雑句

水芭蕉に屈み句帳を落しけり
水芭蕉は温原や小川に沿って群生する。葉よりも花の肉質の白い苞に包まれた黄色の肉穂花序をつける。苞から見える苞は仏炎苞で、水に映えて美しい。俳人はこころ観察することから始まる。水芭蕉に気をこらわ俳句の命である句帳を台無しにした事件簿を告白。くりをしない素直さ、これもまた俳句の原点だろう。

草野 力丸

雨森 久子

冬夏言

蒸気が げけ
軽降る 一
11、 JR

銘菓 夜ざくら
玲奈バナ、最中
クッキーズ
弘前・本町 40033
定休日/毎月10、25日

小笠原諸島
父島列島
鯉島列島
鳥島列島
父島列島
鯉島列島
鳥島列島